

松山港にクルーズ船を受け入れる上で考える ポイントとクルーズ行程の事例等

平成30年3月20日
四国地方整備局 港湾空港部

クルーズ旅客の特性を踏まえた誘致と寄港時の対応が必要

1. クルーズ旅客の国籍別の割合とその規模 （例） 欧米人：日本人＝1600人：1100人
国籍による趣向と旅客の規模に応じた誘致と受け入れ計画
2. クルーズ旅客の年齢層
年齢構成に応じた誘致と受け入れ計画
3. 上記を踏まえた寄港時における旅客の行動パターンの想定とその対応例
 - 1) オプショナルツアーに参加するグループへの対応
観光地での大型バス駐車場の確保、観光の時間調整による渋滞の緩和、町並み観光時の住民への協力要請
 - 2) 個人旅行で動くグループへの対応
タクシーやシャトルバス等による市内中心部や交通機関までのアクセス手段の確保
 - 3) 船内に滞在して付近を散策するグループへの対応
散策マップの配布等
4. クルーズ船が寄港するシーズンは、観光シーズンと重なることが多く、松山市内へ流入する観光客がピークとなるため、松山市外の観光地と連携した広域的な対応が必要
5. クルーズ旅客に対する地元特産品販売戦略、消費税免税店（臨時販売場）の出店
6. クルーズ船社は、クルーズ旅客を飽きさせないように寄港地を入れ替えるため、松山が再び寄港地に選ばれるには、旅客と乗組員の高い満足度が決め手

日本人乗船客向け観光資源

- 日本市場のクルーズ商品を整理したところ、夏季の花火や祭りの観覧クルーズは定番の人気商品である。
- 旅行口コミサイトトリップアドバイザーの2014年の調査によると、美味しい食事が期待できる旅行を好むと回答した人は、世界平均が20%に対し、日本人は53%と回答している。
- 「JTB旅行意識調査」によると日本人の「行ってみたい旅行タイプ」では、「温泉旅行」がトップ。
- 京都新聞によると近年、寺や神社で朱印集めや観音巡礼等が人気で、ブームとなっている。

祭り・花火

各地の著名な祭りへの参加や海上からの花火観覧

グルメ

地元の名産の味わえるレストランや有名料亭での食事

温泉

クルーズ前後の温泉地での宿泊や日帰り入浴、足湯体験等

神社・史跡

神社や城跡、偉人のゆかりの地を訪問

めぐり

季節感を味わう名所めぐりや世界遺産めぐり

道後温泉(本館)、道後・放生園(足湯)、別館飛鳥の湯



大山神社



道の駅ようみいきき館

今治市村上水軍博物館



今治城



西条まつり



面河溪(紅葉)



四国八十八か所霊場(石手寺)

松山城



松山春祭り



松山港まつり(三津浜花火大会)

道後公園・湯築城跡

松山港

松山港から2時間

霧の森菓子工房

ハタダお菓子館

坂の上の雲ミュージアム



○: 松山から概ね片道2時間(高速道路が使える所は高速道路を利用)で行ける範囲



※上記の各項目の色と右の地図上のポイント●の色は対応している。

出典)施設所在自治体ホームページ、各運営団体ホームページ(株式会社しまなみ、道後温泉公式、道後温泉事務所、公益社団法人今治地方観光協会、伊予鉄道株式会社、松山城総合事務所、四国八十八ヶ所霊場会公式、いよ観ねっと)

欧米人乗船客向け観光資源

- アザマラ・クラブ・クルーズ、ウインドスタークルーズ等、欧米人向けのクルーズ船社のエクサカーションメニューでは、手作り体験や日本庭園が組み込まれている。外国人向けの体験では、着物や日本食等も人気。
- 船社のパンフレットを整理してみると、日本文化等がわかりやすい名所・観光地を短時間で回るコースが人気で、世界遺産や日本の歴史文化のシンボリックな名所である史跡や城郭等が組み込まれることが多い。
- 旅行情報誌「トラベルボイス」は、日本の里山風景や古い町並みには欧米人が好む魅力が詰まっているとしている。

- 体験** (オレンジ) 日本らしさを感じられるものづくり体験
- 文化** (ピンク) 日本の歴史を感じる史跡や、美術館等
- 日本庭園** (赤) 日本の四季や歴史・文化が感じられる日本庭園
- 景観** (青) 日本らしさを感じられる自然や街並み等の景観
- 世界遺産** (紫) 歴史や史跡、伝統文化等を総合的に体験できる世界遺産

●: 松山から概ね片道2時間(高速道路が使える所は高速道路を利用)で行ける範囲

Callout locations and images:

- 松山城・城山公園・松山城二ノ丸史跡庭園
- 萬翠荘
- 伊佐爾波神社
- 今治市村上水軍博物館
- しまなみ海道
- 今治城・吹揚公園
- 砥部焼観光センター-炎の里
- 内子の町並み
- 民芸伊予かすり会館
- 坊ちゃん列車ミュージアム

Scale: 0 15 30 60 90 120 km

※上記の各項目の色と右の地図上のポイント●の色は対応している。

出典)施設所在自治体ホームページ、各運営団体ホームページ(いよ観ねっと、民芸伊予かすり会館、今治市村上水軍博物館、伊予鉄道、萬翠荘公式、伊予鉄道株式会社、松山城総合事務所、内子町公式観光サイト、(一社)しまなみジャパン)

台湾人乗船客向け観光資源

- 台湾の旅行社(ライオントリップ社)が販売する日本クルーズでは、“ショッピングモールでの買物”は定番のツアー訪問先である。
- 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(平成29年版)」によると、訪日台湾人の日本旅行で体験したいことでは“伝統的・日本料理を食べる”“桜の鑑賞”“温泉への入浴”“自然・風景を希望する”という回答が多い。
- 産経ニュースによると、台湾では、J-POPや家電製品など日本の流行文化に関心がある若い世代を「哈日族(ハーリーズ)」と呼び、日本のテレビや映画、アニメの舞台となったロケ地を巡るツアーも人気が見込まれる。

買い物

家電や化粧品、医薬品等が購入できる大型の商業施設

市場

買物を楽しめる市場や賑やかな商店街

体験

日本の文化や、遊園地、自然の中でのレジャー体験

テレビ映画

テレビドラマ等のロケ地

SNS

SNS等に掲載できる、写真映える景観



※上記の各項目の色と右の地図上のポイント●の色は対応している。

出典)施設所在自治体ホームページ、各運営団体ホームページ(“株式会社フジ、株式会社しまなみ、大街道商店街公式、松山銀天街商店街振興組合、道後温泉公式サイト、道後温泉事務所、四国八十八ヶ所霊場会公式ホームページ(石手寺)、有限会社シーサイドふたみ、いよ観ねっと、(一社)しまなみジャパン)

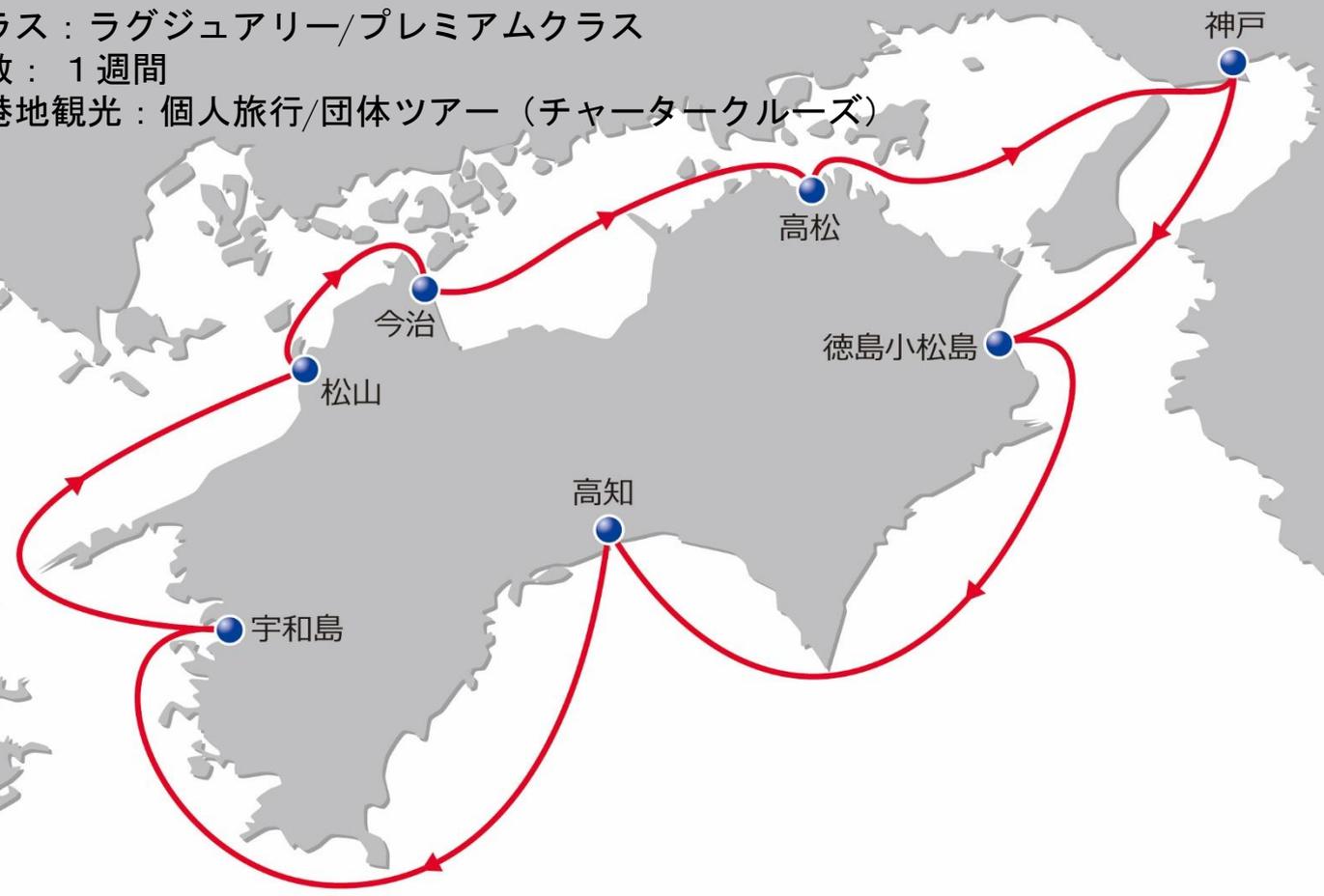
(参考) クルーズ旅客国籍別のクルーズルート(案)の提案

- ① 日本人向け
- ② 欧米人向け
- ③ 台湾人向け

四国
周遊

- ・ 神戸から1週間で四国を周遊できるクルーズ。
- ・ 寄港地では“祭り・花火”や“グルメ・温泉”が楽しめる商品。

- 船：2～5万トン（小型～中型船）
- クラス：ラグジュアリー/プレミアムクラス
- 日数：1週間
- 寄港地観光：個人旅行/団体ツアー（チャータークルーズ）



クルーズルート(案)設定の考え方

<日本人向け>

○対象船舶及び寄港港湾

対象のクルーズ船の船型を、現状運行している邦船社のサイズ(2~5万トン)として想定し、これらの船舶が入港できる港湾を寄港対象となる。

○クルーズ行程

四国を一周するクルーズを設定し、一週間の行程を想定。

○クルーズのテーマ

現状、日本におけるクルーズはシルバー層が主な客層であることから、シルバー層を主なターゲットとして、テーマを設定。

日本人シルバー層の好むクルーズテーマのキーワードとしては、「温泉」、「グルメ」、「景観」、「文化・歴史」が挙げられるため、これらの観光資源を有する寄港地を設定。

・温泉

松山・道後温泉、徳島・伊谷温泉 等。

・グルメ

今治、宇和島など、瀬戸内海のグルメ。

・景観

高松・坂出、今治からの瀬戸内海(瀬戸大橋、しまなみ海道)の景観

・歴史・文化

松山城、高知城、宇和島城 等の探訪

高松・栗林公園、松山・内子町の町並み等の探訪

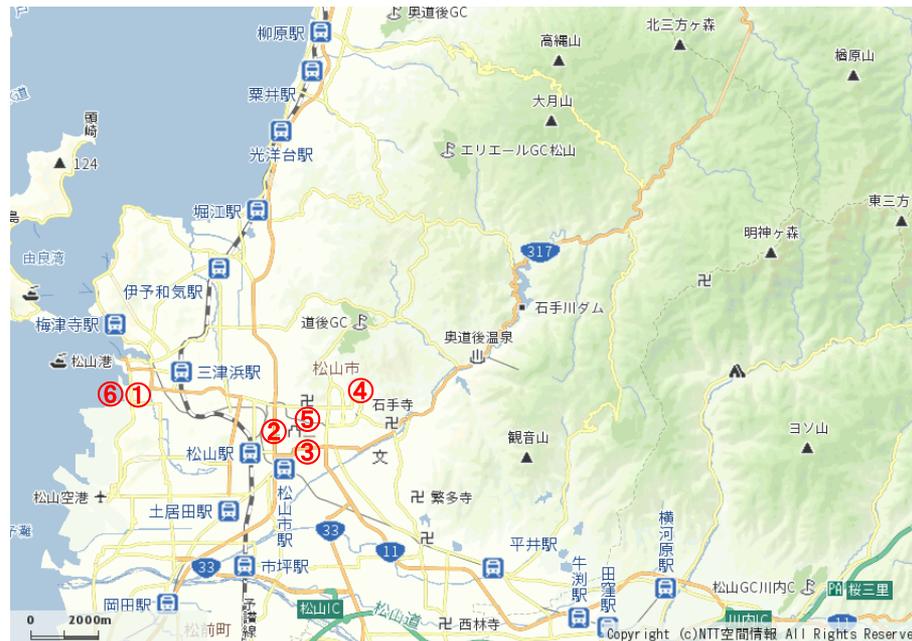
○日本人向けのエクスカッション①

■コース概要

コース①：＜観光&街めぐり＞

コース名（仮称）	松山市内街めぐりゆったり半日観光
所要時間：約3時間30分	①松山港 == ②松山城（東雲口よりロープウェイ約3分） == ③坂の上の雲ミュージアム・ 09:00 09:20（見学時間 60分） 10:20 10:30（見学時間30分） 11:00
ツアー-料金 ¥6,000	==④道後温泉地区散策 ==⑤松山市街地車窓==⑥松山港 11:20 / 12:00 12:30
＜見学地情報＞ ・松山市	＜コースの特色＞ ・松山市内の代表的な観光地見学（車窓見学含む）を中心としたゆったりコース

■コースマップ



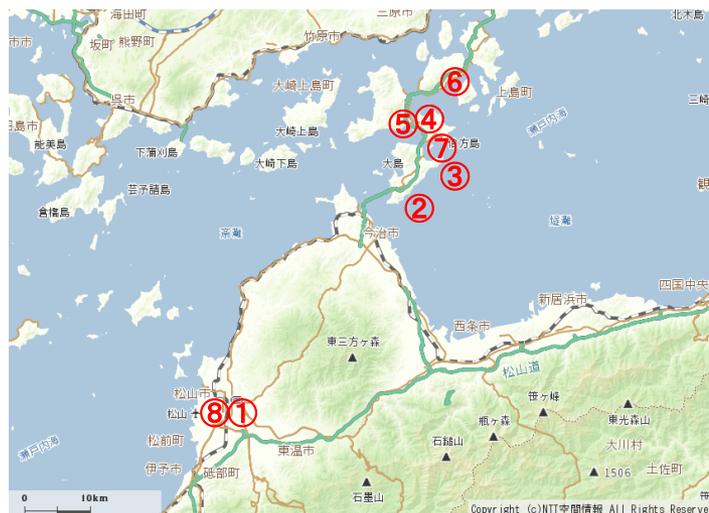
(1) 日本人向けのエクスカッション③

■コース概要

コース③：〈終日周遊・郊外型・観光〉

コース名（仮称）	しまなみ海道絶景ドライブコース
所要時間：約8時間 ～9時間	①松山港 08:30 == ②亀老山展望公園 10:00/10:15 == ③村上水軍博物館 10:40/11:20 == ④大三島・多々羅しまなみ公園 11:45 12:45
ツアー代金¥12,000	（昼食） === ⑤大山祇神社 13:00/13:45 == ⑥平山郁夫シルクロード美術館（生口島） 14:30 == ⑦しまなみ海道 15:20 ドライブ === ⑧松山港 17:30
〈見学地情報〉 ・大三島 ・生口島 ・しまなみ海道	〈コースの特色〉 ・東洋のエーゲ海と称される「瀬戸内の多島美」と橋の絶景を満喫、瀬戸内を代表する史跡や仏閣、文化の殿堂スポットと今話題のパワースポットを楽しむコース

■コースマップ



(1) 日本人向けのエクスカッション④

■コース概要

コース④：〈祭り〉

コース名（仮称）	松山秋まつりを楽しむプラン
所要時間：約8時間 ツアー-代金¥11,000	<p>①松山港 09:00 == ②松山秋祭り見学 09:20（見学時間 60分） == ③道後温泉地区散策 11:20 == ④道後温泉（昼食） 11:30/12:30</p> <p>== ⑤萬翠荘 12:40/13:10 == ⑥坂の上の雲ミュージアム 13:20/14:20 == ⑦梅津寺公園 14:50/16:20</p> <p>== ⑧松山港 16:30</p>
〈見学地情報〉 ・道後地区	<p>〈コースの特色〉</p> <p>・松山を代表するお祭り「松山秋祭り」を見学後、道後地区・松山地区の人気の定番スポットを観光するプラン</p>

■コースマップ



(1) 日本人向けのエクスカッション⑤

■コース概要

コース⑤：〈グルメ〉

コース名（仮称）	タオル美術館と西条アサヒビール工場見学
所要時間：約8時間 ツアー代金¥11,000	①松山港 09:00 == ②道の駅周ちゃん広場 10:10/11:00 == ③タオル美術館 11:15/11:40 == ④りんりんパークー（昼食） 12:00/13:00 == ⑤石鎚神社本社 13:20/14:00 == ⑥アサヒビール四国工場 14:20/15:30 == ⑦松山港 17:00
〈見学地情報〉 ・今治地区周辺	〈コースの特色〉 ・世界でも珍しいタオルアートの美術館をみて、午後からは西日本随一のパワースポット「石鎚神社本社」を参拝。その後、ビール工場見学で出来立てビールを20分間（3杯）まで試飲可能。

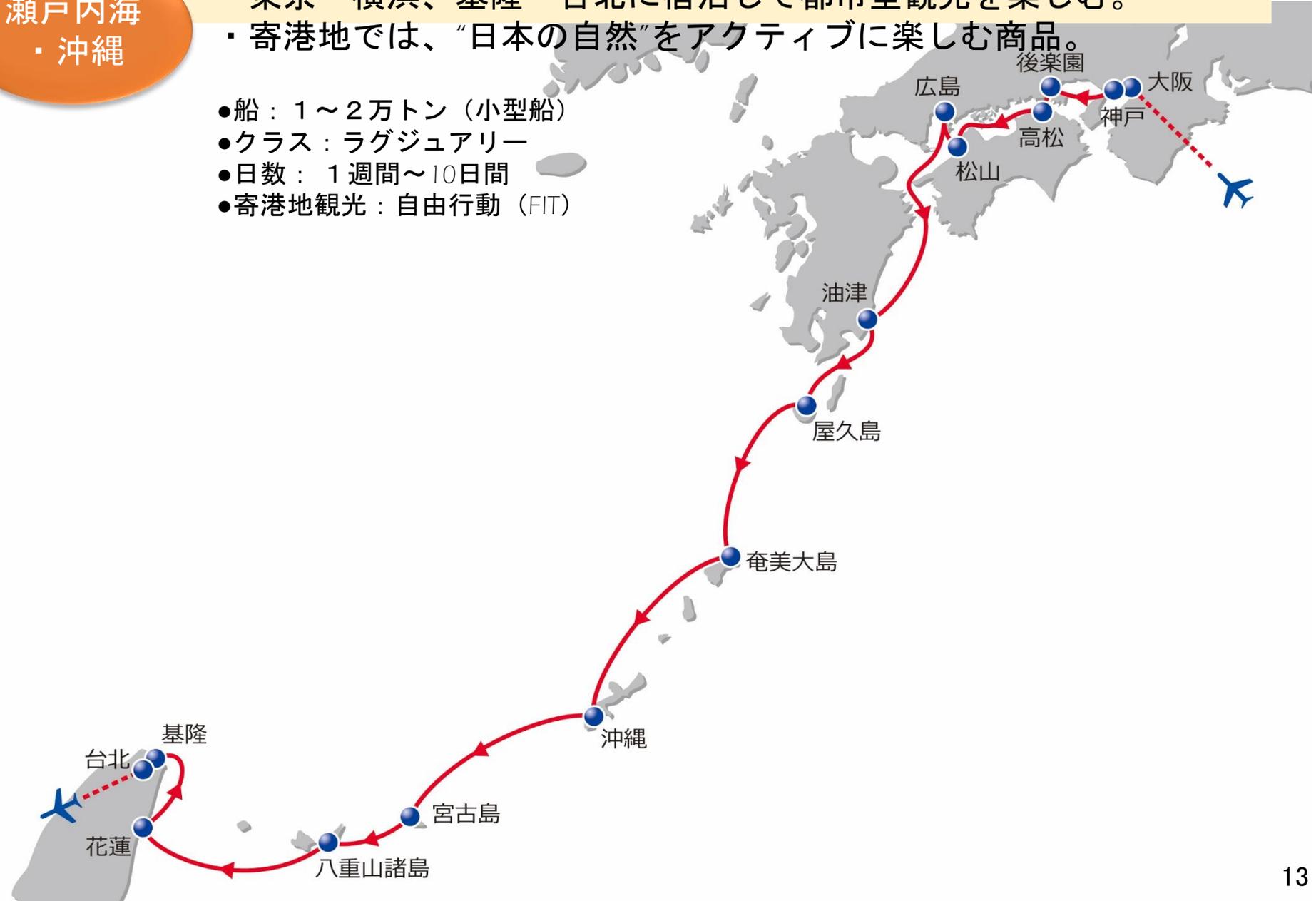
■コースマップ



瀬戸内海
・ 沖縄

- ・ 東京・横浜、基隆・台北に宿泊して都市型観光を楽しむ。
- ・ 寄港地では、“日本の自然”をアクティブに楽しむ商品。

- 船：1～2万トン（小型船）
- クラス：ラグジュアリー
- 日数：1週間～10日間
- 寄港地観光：自由行動（FIT）



クルーズルート(案)設定の考え方

<欧米人向け>

○対象船舶及び寄港港湾

国内で運航されるラグジュアリークラスのクルーズを想定。日本で運航されるラグジュアリークラスのクルーズ船は概ねは1～2万トンであるため、これらの船舶が入港できる港湾を寄港対象とする。

○クルーズ行程

欧米人のバカンスは長期であることから、クルーズの行程は一週間～10日程度を想定。

○クルーズのテーマ、観光資源

欧米人が好む観光の特色は、日本的でわかりやすいものが好まれる。

提案したクルーズ行程には「日本の歴史、文化」、「日本的な景観」、「世界遺産観光」をキーワードとした、観光資源を有する寄港地を設定。前半は都市型観光が中心、後半は日本を代表する島嶼めぐりをテーマとしている。

・日本の歴史、文化。

松山城、沖縄・琉球名所めぐり、奄美大島・旧所名跡、等の観光

・日本的な景観

瀬戸内海の多島美(瀬戸内海三大大橋の景観含む)、
日本を代表するリゾートアイランドを満喫。

・世界遺産観光

姫路城、広島・原爆ドーム、厳島神社、屋久島・原生林、沖縄首里城 等を観光

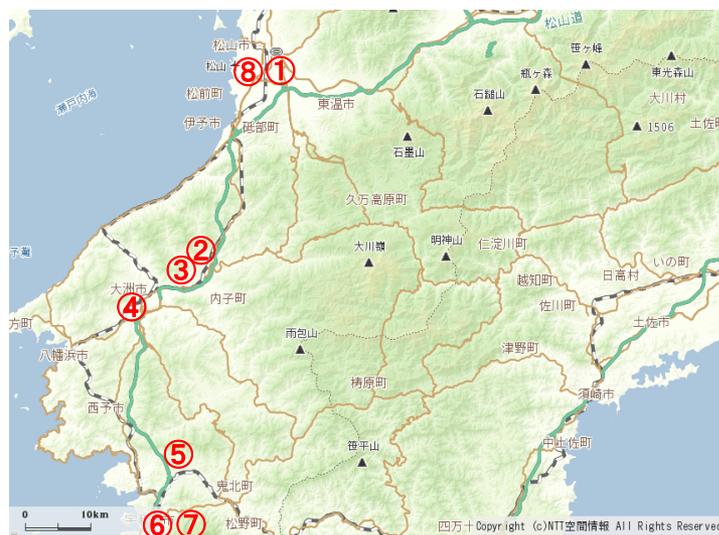
(2) 欧米人向けのエクスカーション①

■コース概要

コース①：＜南伊予の歴史を辿る終日周遊ツアー＞

コース名（仮称）	南伊予（内子・大洲・宇和島）の歴史探訪と情緒あふれる街並みを訪ねる旅
所要時間：約8時間 ～8時間30分	①松山港 08:30 == ②八日市・護国の町並み散策 09:30/10:00 == ③内子座（芝居小屋） 10:05/10:30 == ④大洲城 11:00/11:30
ツアー代金¥12,000	⑤三間（昼食） 12:00/13:00 == ⑥宇和島・伊達博物館 13:15/14:00 == ⑦天赦園 14:05/14:40 == ⑧松山港 17:00
＜見学地情報＞ ・内子 ・大洲 ・宇和島	＜コースの特色＞ ・古き良き時代を景観を楽しみながら内子・大洲・宇和島の3エリアの豪壮な商家などの町並みを散策する歴史探訪コース

■コースマップ



(2) 欧米人向けのエクスカッション②

■コース概要

コース⑤：＜伝統工芸体験と温泉入浴＞

コース名（仮称）	砥部焼の里巡り（陶芸体験）と道後温泉入浴ツアー
所要時間：約7～8時間	①松山港 09:00 === ②砥部町陶芸創作館 09:40/10:15 === ③砥部焼陶芸体験（梅山窯） 10:20/11:50 === ④道後温泉（昼食 & 入浴） 12:30/15:00 === ⑤道後ハイカラ通り（散策&ショッピング等） 15:00/16:00 === ⑥松山港 16:45
ツアー代金¥11,000	
＜見学地情報＞ ・道後温泉 ・砥部町	＜コースの特色＞ ・日本を代表する温泉スポット「道後温泉」にて温泉入浴体験とグルメを楽しむ、伝統工芸である砥部焼陶芸を体験する。

■コースマップ



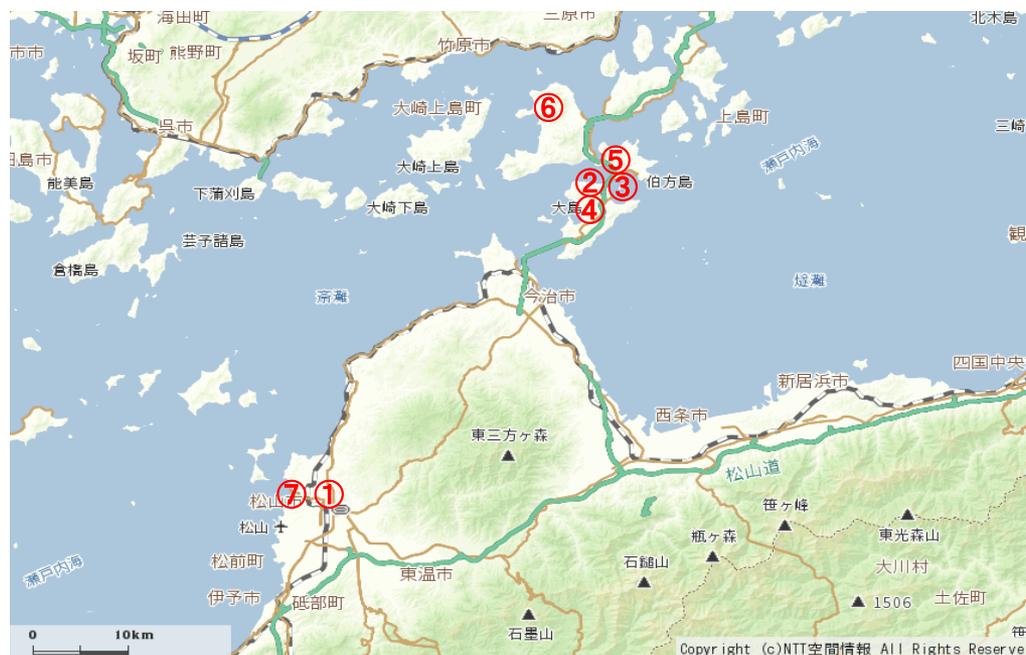
(2) 欧米人向けのエクスカッション③

■コース概要

コース③：＜世界遺産＞

コース名（仮称）	迫り来る潮流！村上海賊ツアー
所要時間：約8時間	①松山港 == ②村上水軍博物館 == ③能島水軍 潮流体験 == 09:00 10:30/11:25 11:30/12:10
ツアー-料金¥11,000	④能島水軍 海鮮バーベキュー == ⑤能島城 == ⑥大山祇神社 == ⑦松山港 12:15/13:15 13:20/14:30 15:00/16:00 17:40
＜見学地情報＞ ・今治市	＜コースの特色＞ ・ベストセラー小説『村上海賊の娘』（和田竜著）の舞台となった、村上水軍ゆかりの無人島「能島」を観光するツアー

■コースマップ



(2) 欧米人向けのエクスカッション④

■コース概要

コース④：＜文化＞

コース名（仮称）	愛媛県内のミュージアム満喫ツアー
所要時間：約8時間 ツアー代金¥8,500	①松山港 == ②道の駅周ちゃん広場 == ③タオル美術館 == ④タオル美術館（昼食） = 09:00 10:10/11:00 11:15/11:50 12:00/13:00 ⑤道後温泉 == ⑥愛媛県美術館 == ⑦坊っちゃん列車ミュージアム == ⑧松山港 14:00/15:00 15:20/16:00 16:10/16:30 17:00
＜見学地情報＞ ・今治市 ・道後地区	＜コースの特色＞ ・タオル美術館や愛媛県美術館、坊っちゃんミュージアム等今治地区、松山地区の美術館・ミュージアムをたっぷり楽しみ愛媛県の文化に触れるツアー

■コースマップ



(2) 欧米人向けのエクスカーション⑤

■コース概要

コース⑤：〈庭園〉

コース名（仮称）	愛媛県内日本庭園満喫ツアー
所要時間：約6時間 ツアー-料金¥8,000	①松山港 09:00 == ②松山城二之丸史跡庭園 09:30/10:10 == ③松山城 10:20/11:50 == ④萬翠荘(見学&昼食) 12:00/13:30 == ⑤道後公園 13:40/14:20 == ⑥松山港 15:00
〈見学地情報〉 ・松山市	〈コースの特色〉 ・松山市内の庭園を散策するプラン

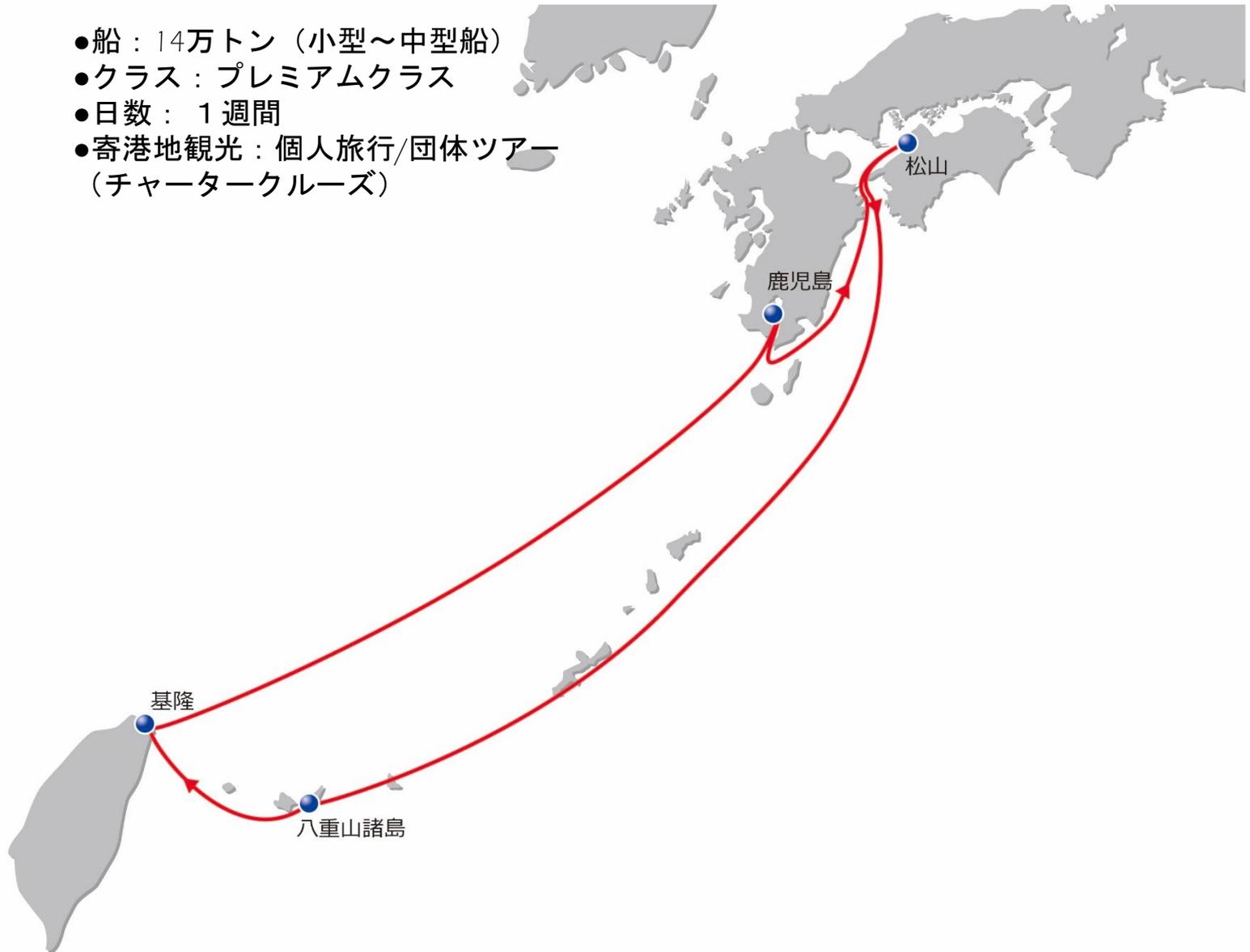
■コースマップ



九州・
四国

- ・台湾発着で九州・四国をめぐるコース
- ・寄港地では“祭り・花火”や“グルメ・温泉”が楽しめる商品。

- 船：14万トン（小型～中型船）
- クラス：プレミアムクラス
- 日数：1週間
- 寄港地観光：個人旅行/団体ツアー（チャータークルーズ）



クルーズルート(案)設定の考え方

<台湾人向け>

○対象船舶及び寄港港湾

対象のクルーズ船の船型を、台湾発着で現状運行しているサイズ(5万～14万トン)程度として想定し、これらの船舶が入港できる港湾を寄港対象とする。

○クルーズ行程

CLIA(※)の報告によると、現在の台湾発着クルーズの8割は2、3泊であるが、台湾発着で松山港への寄港を想定したクルーズ行程を考える場合、距離的な問題で6泊程度が必要。

(※)CLIAとは、世界最大の国際クルーズ協会である「クルーズライン国際協会」

○クルーズのテーマ、観光資源

台湾人が好むクルーズの特色は「ショッピング」、「日本文化(テレビ、映画ロケ地)」、「SNS等での写真映え」であることから、これらに合致する観光資源を有する寄港地を設定。

・ショッピング(市場、商店街)

鹿児島・天文館、松山・道後温泉周辺の自由散策。

・日本文化(テレビ、映画ロケ地)

松山・坂の上の雲、鹿児島・仙巖園 等

・SNS等での写真映え

瀬戸内海。多島美、鹿児島・桜島、沖縄諸島、八重山諸島の景観

(3) 台湾人向けのエクスカッション①

■コース概要

コース⑥<市内周遊プラチナコース>

コース名（仮称）	
所要時間：約7時間 ～7時間30分	①松山港 09:30 == ②松山城（東雲口よりロープウェイ約3分）09:50（見学時間 60分） 10:50 == ③坂の上の雲ミュージアム 11:00（見学時間45分） 11:45
ツアー代金¥16,000	== ④道後温泉（昼食&入浴体験） 12:00/14:30 == ④道後温泉地区散策 14:40/15:30 == ⑤坊ちゃん列車乗船 16:00/16:30 == ⑥松山港 17:00
<見学地情報> ・松山市 ・道後地区	<コースの特色> ・松山市内・道後地区、人気の定番スポットをゆったり観光、温泉入浴と地元の食材の高級グルメを楽しむ。 ショッピング&散策時間もゆったり楽しめるツアー

■コースマップ



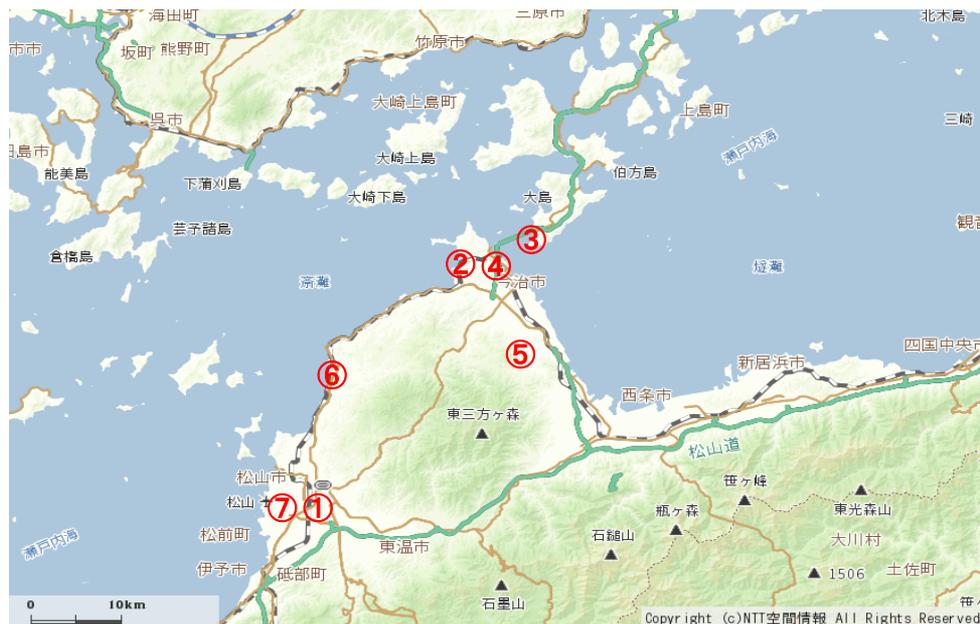
(3) 台湾人向けのエクスカッション②

■コース概要

コース②：〈体験〉

コース名（仮称）	しまなみ海道サイクリングツアー
所要時間：約8時間 ツアー-料金¥9,500	①松山港 == ②今治市サイクリングターミナル サンライズ糸山 == 09:00 10:30/10:50 ③道の駅よしうみいきいき館（昼食） == ④サンライズ糸山 == ⑤今治城 == 11:20/13:00 13:40/14:00 14:20/14:50 ⑥道の駅 風早の郷 風和里 == ⑦松山港 15:35/16:15 17:00
〈見学地情報〉 ・しまなみ海道	〈コースの特色〉 ・しまなみ海道でサイクリング

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション③

■コース概要

コース③：〈市場〉

コース名（仮称）	松山地区買い物&道後温泉散策ツアー
所要時間：約7時間 ツアー代金¥5,000	①松山港 09:00 == ②エミフルMASAKI 09:30/14:00 == ③道後温泉散策（足湯体験・スイーツ、買い物） 14:40/15:40 == ④松山市内車窓観光 15:30/16:00 == ⑤松山港 16:20
〈見学地情報〉 ・松山市	〈コースの特色〉 ・松山市内の免税店の買い物と道後温泉を巡るツアー

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション④

■コース概要

コース④：〈市場〉

コース名（仮称）	今治市内観光&免税店買い物ツアー
所要時間：約9時間 ツアー-料金¥8,500	①松山港 == ②タオル美術館 == ③道の駅 よしうみいきいき館（昼食） == 09:00 09:30/11:20 12:00/13:40 ④伯方塩業（株）大三島工場 == ⑤道の駅 伯方S・Cパーク == ⑥松山港 14:30/15:30 16:00/16:40 18:00
〈見学地情報〉 ・今治市	〈コースの特色〉 ・タオル工場・伯方の塩の工場見学と道の駅での買い物ツアー

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション⑤

■コース概要

コース⑤：〈体験〉

コース名（仮称）	親子でお出かけ陶芸・ほうき作り体験ツアー
所要時間：約8時間 ツアー-料金¥6,500	①松山港 09:00 == ②砥部町陶芸創作館 09:40/10:15 == ③砥部焼陶芸体験（梅山窯） 10:20/11:50 == ④道後温泉（昼食） 12:30/13:30 == ⑤くるるアトリエ 14:00/15:30 == ⑥松山港 16:00
〈見学地情報〉 ・砥部町 ・道後地区	〈コースの特色〉 ・砥部町での陶芸体験とくるるアトリエでの雑貨制作が体験できるプラン

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション⑥

■コース概要

コース⑥：＜体験＞

コース名（仮称）	潮流体験ツアー
所要時間：約8時間	①松山港 09:00 == ②村上水軍博物館 10:30/11:25 == ③能島水軍 潮流体験 11:30/12:10 ==
ツアー-料金¥8,000	== ④能島水軍 海鮮バーベキュー 12:15/13:15 == ⑤大山祇神社 13:50/15:00 == ⑥松山港 17:00
＜見学地情報＞ ・今治市	＜コースの特色＞ ・潮流体験と海鮮バーベキュー、旅の最後は有名なパワースポットの大山祇神社へ参拝

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション⑦

■コース概要

コース⑦：〈ロケ地〉

コース名（仮称）	道後温泉地区散策ツアー
所要時間：約7時間 ツアー-料金¥7,000	①松山港 == ②道後温泉地区散策 == ③道後温泉（昼食） == 09:00 09:30/11:30 12:10/13:30 ④坊っちゃん列車ミュージアム == ⑤いよてつ高島屋 == ⑥松山港 14:20/15:45 15:50/16:50 17:10
〈見学地情報〉 ・松山市 ・道後地区	〈コースの特色〉 ・道後温泉地区を散策後、最後は百貨店で買い物と大観覧車に乗って松山市内が一望できるプラン

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション⑧

■コース概要

コース⑧：〈ロケ地〉

コース名（仮称）	松山地区ロケ地巡りツアー
所要時間：約6時間 ツアー-代金¥7,000	①松山港 == ②梅津寺公園 == ③高浜駅 == ④道後温泉地区散策（昼食） 09:00 09:10/10:40 10:45/11:15 11:45/13:30 == ⑤石手寺 == ⑥松山港 13:35/14:35 15:05
〈見学地情報〉 ・松山市 ・道後地区	〈コースの特色〉 ・松山市内で映画・ドラマが撮影されたロケ地を巡るツアー

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション⑨

■コース概要

コース⑨：〈SNS〉

コース名（仮称）	SNSにアップしたくなるスポットを巡る！選べるフォトジェニックツアー
所要時間：約8時間 ツアー代金¥8,500	①松山港 09:00 == ②八日市・護国の街並み散策 10:00/10:30 == ③内子座（芝居小屋） 10:35/11:05 ④道の駅内子フレッシュパーク からり（昼食） 11:10/13:00 == ⑤ポコペン横丁（大洲） 13:20/14:00 == ⑥下灘駅 14:40/15:00 ⑦道の駅 ふたみ ふたみシーサイド公園 15:05/16:20 == ⑧松山港 17:00
〈見学地情報〉 ・内子 ・大洲 ・伊予市	〈コースの特色〉 ・愛媛県内のSNS映えスポットを効率よく巡るプラン

■コースマップ



(3) 台湾人向けのエクスカッション⑩

■コース概要

コース⑩：〈SNS〉

コース名（仮称）	西条市満喫ツアー
所要時間：約7時間 ツアー-料金¥8,000	①松山港 09:00 == ②西条市内（西条祭り見学・昼食） 10:20/13:00 == ③鉄道歴史パーク in SAIJO 13:10/14:40 == ④西山興隆寺 15:20/15:45 == ⑤松山港 17:00
〈見学地情報〉 ・西条市	〈コースの特色〉 ・10月に行われる西条祭りを見学、鉄道歴史パークや西山興隆寺の紅葉を楽しむ西条市の秋を満喫するプラン

■コースマップ



2. 松山港周辺のシャトルバス

コース (11) : <シャトルバス運行コース>

コース名	J R松山駅行／大型ショッピングモール行
所要時間：約20分～30分	松山港 === J R松山駅 === 松山港 松山港 === 大型ショッピングモール === 松山港
<見学地情報> ・松山市	<コースの特色> ・大型ショッピングモール行：（15分～30分毎 発） ・J R松山駅行：（30分毎 発） （最近の傾向では、各寄港地で個人して行動している。タクシーやレンタカーの利用、市街地ウォーキング 等々）

プリンセス・クルーズ、ダイヤモンド・プリンセスで行く
2019年日本発着クルーズの新寄港地を発表
～高松、松山、宮古島、蒲郡、新潟、姫路、宮古、和歌山下津の8港に初入港～



[プリンセス・クルーズ](#)は、2019年日本発着クルーズの新寄港地を発表しました。

2019年に就航7年目のシーズンを迎えるプリンセス・クルーズの日本発着クルーズでは、ダイヤモンド・プリンセスが高松、松山、宮古島、蒲郡、新潟、姫路、宮古、和歌山下津に初入港します。

8港の新寄港地について、プリンセス・クルーズ ジャパンオフィスである株式会社カーニバル・ジャパン代表取締役社長、堀川悟は次のように述べています。

「2019年に就航7年目を迎える日本発着クルーズでは、ダイヤモンド・プリンセスが新たに8港へ初入港することが決定しました。寄港地数が増えることで、さらにバラエティ豊かなコース設定が可能となることを大変嬉しく思います。今後も新たな寄港地を増やし、季節感に溢れ、日本の魅力を再発見できるクルーズをご提供できるよう尽力して参ります」。

プリンセス・クルーズの日本発着クルーズは、2019年も引き続き、日本で建造され、日本のお客様向けにカスタマイズした客船、ダイヤモンド・プリンセスが運航。外国客船ならではのインターナショナルで華やかな雰囲気の中、充実の日本語サービス、日本食を含むバラエティ豊かなお食事の提供など、日本のお客様が安心してお楽しみいただけるクルーズを提供します。

プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在17隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の360以上の目的地に向けて、3泊から111泊の日程でバラエティ豊かな150以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USA トゥデイズ 10 ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 においてベスト・オーシャンクルーズライン賞第1位、ベスト・クルーズシップ ダイニング部門にてロイヤル・プリンセスが第1位、ベスト・クルーズシップ エンターテイメント部門にてリーガル・プリンセスが第一位、ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門にクラウン・プリンセスが第2位、リーガル・プリンセスが第3位、ロイヤル・プリンセスが第6位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 にて、ベスト・中米コース、ベスト・南太平洋コース、ベスト・オンボード・ショッピング、ベスト・シグネチャー・カクテルを受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2016」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を三年連続で受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を2015年12月に受賞。
(9年連続の受賞)。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を2014年に引き続き2015年12月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015年10月に受賞

【国内での受賞】

- 第9回「観光庁長官表彰」を2017年10月受賞
- 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域 ビジネス部門で部門賞を2017年9月受賞、また第1回同アワードにて、観光関連産業部門 部門賞を2015年9月受賞
- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月受賞
- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度、2016年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を三年連続で受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ2014」を2015年6月受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」にて、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが2014年12月に「グランプリ」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」にて、「運輸部門優秀賞」を2013年9月受賞



[ホーム](#) > [県政情報](#) > [知事](#) > [ようこそ！愛媛県知事室へ](#) > [知事記者会見録](#) > 松山港への大型クルーズ船寄港に関する知事記者発表の要旨について

更新日:2017年12月21日

松山港への大型クルーズ船寄港に関する知事記者発表の要旨について

日時:平成29年12月20日(水曜日)

11時00分～11時14分

場所:知事会議室

(知事)

一昨日、お知らせいたしました松山港への大型クルーズ船の寄港について、経緯を発表させていただきます。

今回、世界の三大クルーズ会社であるプリンセス・クルーズから、松山港を2019年、日本発着クルーズの新寄港地に選定したと連絡をいただきました。寄港する大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」は、乗客定員が2,706人、総トン数で11万5千トン余で、本県に寄港するクルーズ船としては、過去最大の規模のクルーズ船となります。

県の方では、昨年度、庁内に勉強会を立ち上げまして、関係市を交えて県内へのクルーズ船誘致について検討を開始していましたが、併せてクルーズ船運航会社へ直接セールス活動を実施してきたところでございます。

さらに、今年度は、行政機関、商工団体、そして観光や交通関係者等で構成いたしました「瀬戸内海クルーズ振興検討会」におきまして、寄港の拡大に向けた具体的な検討を進めてきたところであります。また、プリンセス・クルーズの日本法人にターゲットを絞ってまいりました。その代表者に、先般、松山港や道後温泉等を視察していただきまして、港の状況や松山の魅力を直接アピールするなど、交渉を続けてきた経緯がございます。

その結果、2019年の「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港につながったということでございます。

「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港日時等、詳細は今後の発表になりますけれども、2018年は横浜、名古屋、大阪、神戸を発着地としまして、日本各地と台湾、韓国、ロシアなどを結ぶ、29コースのクルーズを展開しており、日本の祭りや遺産、自然や美食など、バラエティにあふれる、日本の魅力を堪能できるコース設定となっております。

本県には、日本最古とされる道後温泉や、現存12天守の一つである松山城、瀬戸内の魚、かんきつをはじめとした愛媛の食などがありますことから、日本らしさを凝縮した本県の魅力に触れていただければ、多くの愛媛ファン、またリピーターの獲得にもつながるものと考えています。

さらに、「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港1回当たりの直接消費額は5千万円を超えると見込まれておりまして、経済効果にも期待できるのではなかろうかと思えます。

「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港まで1年余となりますが、寄港回数の増加や新たなクルーズ船の寄港にもつなげていけるよう、これを試金石といたしまして、受け入れ体制に万全を期すとともに、地域の方との触れ合いや交流といった心の通うおもてなしができるよう、国、関係市町、関係団体と連携して取り組んでいきたいと思えます。

以上です。

(愛媛新聞)

プリンセス・クルーズ社の日本法人にターゲットを絞った理由は何か。

(知事)

これまでも何度か、私も今月末また会社の方にも伺う予定にしておりますけれども、日本国内の船もあるんですが、非常に大がかりな日本のコースを考えているというふうなこともありまして、日本法人の感触もですね、可能性が十分あるというふうな判断をいたしましたところで、あっちもこっちもというよりは、何事もこういうときは、どこかに絞って熱意を伝えた方が実現性は高いということで、他社と比べて実現の可能性が高いというふうな判断をいたしましたところです。

(南海放送)

2019年に寄港するということが、松山港での寄港期間は何日間ぐらいになるのか。

(知事)

まだ決まってないんですよ、はい。こういうクルーズ船が来た場合というのは、宿泊は基本的に船になりますので、どういざなって消費につなげるか、魅力を感じていただけるかということなので、詳細が発表されたら、それに合わせた形で受け入れ体制を考えていく必要があると思っています。

ちなみに、日本発着クルーズコースの乗客は、おおむねですけれども、日本人が6割、欧米人が4割で、リピート率は、およそ40パーセントというふうに聞いております。

(朝日新聞)

全国的にクルーズ客船の誘致合戦みたいなのが起っていて、四国でも高知港には、かなり来ているようだが、今後、どれぐらい来てほしいといった目標はあるのか。

(知事)

そうですね。例えば、アジアの某国のクルーズ船が一時期各地に来るようになりましたよね。そこで、分析をすると、あの場合は本当に消費効果というのは、ほとんど期待ができないかなという状況がありました。ですから、愛媛県としては、そこには積極的には手を出さないという選択をしたんです。先ほど申し上げたように、停泊しても宿泊は見込めませんから、広範にわたる実需が生み出せるかどうかということを考えなければいけないと思うんですね。(そういう意味)で、アジアのその国のクルーズ船は、買い物を目的にして、しかも、そこで仕入れた物を、また本国で売るというようなことも意図していましたので、到着するとバスで大型ショッピングセンターに向かい、そこで買い占めて、すぐさま船に乗って離岸すると。これではですね、本当の意味での地域の魅力を伝えることもできないですから。

今回の場合は、日本人と欧米人が中心になりますので、そのあたりをしっかりと見極めて対策を打っていききたいというふうに思っています。どういうことをすれば、実のある、今後につながっていくのか、しっかりとマーケティング分析をする必要があると思っています。

ちなみに今回、松山港以外の新寄港地ですけれども、計7カ所、松山を入れて8カ所を新寄港地として選んでいただきました。

(南海放送)

松山以外の新寄港地は、具体的にどこか。

(知事)

はい。愛知県の蒲郡、香川の高松、新潟、兵庫の姫路、沖縄の宮古島、岩手の宮古、和歌山、それから愛媛の松山ということになります。

(愛媛新聞)

今回のクルーズ船の受け入れに当たって、松山港で今後改良が必要な施設などはあるのか。

(知事)

港のですか。

(土木部長)

はい。駐車場の整備とか、あるいはつなぎ留める防舷材とか係船柱とか、このあたりは若干補修が必要だというふうに考えています。それ以外に、Wi-Fiの施設であるとかおもてなし関係の整備が必要だと思っていますので、これは、施設所有者である国ともいろいろ協議しながら、あと松山市とも協議をしながら進めていきたいというふうに考えています。

(南海放送)

世界に三大クルーズ社があるとのことだが、この「ダイヤモンド・プリンセス」を就航しているプリンセス・クルーズ社は、具体的にどういう特徴のある会社なのか。

(知事)

まず、「ダイヤモンド・プリンセス」を運航する会社ですけれども、これは(クルーズ船の)運航会社としては世界最大となる、カーニバル・コーポレーションの傘下のプリンセス・クルーズというところに所属しています。日本発着クルーズとしては、2019年に就航7年目を迎えるんですが、非常に力を入れてさまざまな商品開発を行っていますので、実績としてはしっかりとした会社でございます。

カーニバル・ジャパンは、日本のクルーズ市場拡大を目的に、そのプリンセス・クルーズの日本法人として平成24年に設立され、現在、積極的に展開しているということになります。

ちなみに、先ほど乗客定員が2,706人と言いましたけれど、その他に乗組員が1,100人いらっしゃいます。だから3,800人ということですね。

11万トンというのは、これまで松山港に寄港した中で最大の船が、7万7千トンですから、過去最大です。今、宇和島辺りに来ている小型のクルーズ船は、1万トンぐらいの船が中心となっています。

(愛媛新聞)

今後、クルーズ船の受け入れを進めて行くということだが、今回の船とだいたい同規模程度の大きさの船を誘致するのか。

(知事)

先ほど試金石と言いましたけれども、本当に単発的にとらえるのではなくて、向こう側にしても魅力があると映れば、継続になるでしょうし、ですからそのあたりの戦略というのが、今回の一回目の時には本当に大事だと思っていますので、その動向をしっかりと見極めて、次につなげていく判断をしたいと思っています。

先ほど申し上げたアジアの形とは、ちょっと違った消費動向、行動パターンというのが見込めるのではないかというふうに思っています。

お問い合わせ
土木部港湾海岸課 〒790-8570 松山市一番町4-4-2 電話番号:089-912-2690 ファックス番号:089-912-2689

愛媛県庁 企画振興部 政策企画局 広報広聴課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2

法人番号1000020380008

電話番号(代表)089-941-2111

All Rights Reserved Copyright (c) Ehime Prefecture

2019年、愛媛県松山港にダイヤモンド・プリンセスが初入港 愛媛県知事 中村時広氏がプリンセス・クルーズを訪問



左より：愛媛県知事 中村 時広氏、カーニバル・ジャパン代表取締役社長 堀川 悟

[プリンセス・クルーズ](#)は、日本発着クルーズを運航するダイヤモンド・プリンセスが、2019年松山港に初入港することを受け、2017年12月27日に愛媛県知事 中村時広氏の来訪を受けました。

これは、プリンセス・クルーズが2019年日本発着クルーズにおいて、新寄港地として松山港を選定したことに対する地域貢献への御礼と今後のさらなる寄港要請のため、知事からは松山市をはじめとする愛媛県の魅力も紹介され、終始和やかな雰囲気での会談が行われました。

愛媛県知事 中村時広氏は今回の訪問において、次のように述べています。

「2019年にダイヤモンド・プリンセスが松山に初入港いただけること、心から御礼申し上げます。私は松山生まれで、幼い頃から船には馴染みがありますが、このような大型客船の受入が実現することを誠に嬉しく思います。愛媛は道後温泉や国指定の重要文化財である松山城、サイクリストの聖地しまなみ海道などがあり、また、食材も豊富で新鮮な魚介類も楽しむことができる観光地として非常に魅力的な土地です。港の受入体制を整え、入港の際には精一杯の温かいおもてなしでお迎えますので、ぜひ今後もプリンセス・クルーズに寄港していただきたいと考えています」。

また、プリンセス・クルーズ ジャパンオフィスである株式会社カーニバル・ジャパン代表取締役社長 堀川悟は次のように述べました。

「今回の初寄港地選定のため、松山の視察を実施しました。実際に訪問してみると自然豊かで観光も楽しめる素晴らしい土地であり、国内外のお客様にご満足いただける寄港地であると確信しました。2019年に7年目を迎える日本発着クルーズにおいて、新たに魅力的な寄港地が増えることを、私自身も大変嬉しく思います。2019年の松山への初入港を今から楽しみにしています」。

2019年日本発着クルーズでは、松山港をはじめ、高松、宮古島、蒲郡、新潟、姫路、宮古、和歌山下津の全8港にダイヤモンド・プリンセスが初入港します。

プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 17隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の360以上の目的地に向けて、3泊から 111泊の日程でバラエティ豊かな150以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](http://www.princesscruises.jp/) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USA トゥデイズ 10 ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 においてベスト・オーシャンクルーズライン賞第 1 位、ベスト・クルーズシップ ダイニング部門にてロイヤル・プリンセスが第 1 位、ベスト・クルーズシップ エンターテイメント部門にてリーガル・プリンセスが第 1 位、ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門にクラウン・プリンセスが第 2 位、リーガル・プリンセスが第 3 位、ロイヤル・プリンセスが第 6 位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 にて、ベスト・中米コース、ベスト・南太平洋コース、ベスト・オンボード・ショッピング、ベスト・シグネチャー・カクテルを受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2016」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を三年連続で受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を 2015 年 12 月に受賞。(9 年連続の受賞)。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を 2014 年に引き続き 2015 年 12 月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015 年 10 月に受賞

【国内での受賞】

- 第9回「観光庁長官表彰」を2017年10月受賞
- 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域 ビジネス部門で部門賞を2017年9月受賞、また第1回同アワードにて、観光関連産業部門 部門賞を2015年9月受賞
- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月受賞
- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度、2016年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を三年連続で受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ2014」を2015年6月受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」にて、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが2014年12月に「グランプリ」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」にて、「運輸部門優秀賞」を2013年9月受賞